



静謐な雰囲気が漂う「オーデマ・ピゲ サロン」。
温かみのあるインテリアが並ぶ専門のコーナーで、
様々なモデルをくつろぎながら手に取ることができる。



上:「CODE 11.59 バイ オーデマ・ピゲ クロノグラフ」
自動巻き、18Kホワイトゴールドケース、径41mm、4,895,000円
中:「ロイヤル オーク ミニッツリピーター スーパーソリューション」
手巻き、ブチナケース、径42mm、限定本数20本、44,275,000円
下:「ロイヤル オーク オフショア トゥールビヨン クロノグラフ」
手巻き、ブラックセラミックケース、径44mm、限定本数20本、31,955,000円
*すべて税込。

創業100年を迎えた YOSHIDAと オーデマ・ピゲの信頼関係

写真・岡村昌宏 文・戸叶庸之 デザイン・小林泰和

世界中の時計愛好家や富裕層が足繁く通う老舗時計店が、東京・渋谷区幡ヶ谷にある。2020年に創業100年を迎えた『YOSHIDA』は、一流の時計・宝飾品が集まる「ラグジュアリーの殿堂」として知られている。

錚々たる取り扱いブランドの中でも、世界最高峰の時計ブランドのひとつに数えられるオーデマ・ピゲの品ぞろえは、群衆を抜いている。他店を圧倒するそのラインナップは、世界屈指のオーデマ・ピゲの販売実績とともに『YOSHIDA』が築き上げた圧倒的なブランド力を証明している。

店内に併設された「オーデマ・ピゲ サロン」も、両社の信頼関係の証を象徴するユニークな空間だ。落ち着いた雰囲気で、商品群に目を向けると、定番モデルやレディースはもちろん、今年から同店での取り扱いが始まった話題作「CODE 11.59 バイ オーデマ・ピゲ」など、稀少なモデルが並び、その充実ぶりに驚かされる。

近頃では、実機を目にすることさえ難しいと言われているオーデマ・ピゲの優れた時計の数々に、『YOSHIDA』の店頭で、ぜひ触れてみてほしい。